

四万十公社第9期（令和2年度）

# 事業報告

# 【公益目的事業：ケーブル事業報告】

## ■事業概要

地上波テレビ放送の難視聴対策に加えて、地域に密着したあらゆる分野における情報提供を行い、地域間の情報格差の是正を行う為、幅広く事業を展開した。

自主放送では地域の身近な情報の番組づくりを行うほか、町民が気軽に参加できる番組づくりを行い、安定した通信の提供など町民のニーズに対応できる事業や施設の維持管理及び機器更新等の提案などの施設運営に努めた。

## 1. 登録有線一般放送の放送番組の提供に関する業務

地上波テレビ放送の難視聴対策に加えて「情報格差是正や地域情報の提供を通じ、地域住民の生活環境の向上及び豊かなコミュニティの形成並びに快適な環境のまちづくりに寄与する」四万十町ケーブルネットワーク施設を十分に理解・尊重した上で、放送法施行規則第134条に規定された、有線一般放送（テレビジョン放送）を遵守し四万十町民の生活を支える重要なインフラとなっていることを十分に認識し、常に善良な管理、施設を保全、サービス内容の拡充と適正な運営に努める。

- ・同時再送信に関する業務
- ・自主放送に関する業務
- ・有料放送に関する業務

### 1) 自主放送に関する業務

【課題】河川監視カメラ映像の地デジ12chの完全移行を目指す

平成30年度の映像系機器更新に合わせて「河川監視カメラ映像」の視聴操作を緩和する為に12チャンネルを追加した。チャンネルを追加したことで、町議会・県議会中継等が重なった際の「同時両議中継放送（マルチ編成）」の運用が可能となり（H31.4～）県議会中継は12-2chで放送することとなった。

チャンネル設定の周知は、加入者へ各媒体（四万十町通信、番組表、HP、自主放送、文字放送）を使って行う他、サポート訪問時にチャンネル設定及び設定の誘導を行った。

完全移行までは中々難しいのが現状であるが、今後、定期的に11-2chの河川監視カメラ映像へ文字スーパーを入れる。また、夜間は河川監視の映像が確認できない為、その時間にチャンネルスキップを促す放送を行う等、担当課と協議を行なった。

## ■ 番組編成

	リモコン番号	チャンネル名	現在の放送状況	河川監視カメラ映像移行後
四万十 CATV11	1 1	四万十自主① 1 1 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しまんと放送室</li> <li>・四万十うおっちんぐ</li> <li>・行政番組</li> <li>・文字放送</li> <li>・議会中継（町議会）</li> <li>・特別番組等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しまんと放送室</li> <li>・四万十うおっちんぐ</li> <li>・行政番組</li> <li>・文字放送</li> <li>・議会中継（町議会）</li> <li>・特別番組等</li> </ul>
		四万十自主② 1 1 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川監視カメラ映像</li> </ul>	※移行の目途がいたら、特別番組等の割り当てを周知
四万十 CATV12	1 2	四万十自主③ 1 2 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川監視カメラ映像</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・河川監視カメラ映像</li> </ul>
		四万十自主④ 1 2 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会中継（県議会）</li> <li>・行政放送（文字放送）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会中継（県議会）</li> <li>・行政放送（文字放送）</li> </ul>

### 2) 有料放送に関する業務

【課題】 HD 有料番組 110 度 CS 開始の周知と SD 有料放送終了に向けた取り組み

平成 30 年度に映像系機器更新に合わせ、BS・110 度 C S アンテナに更新したことで HD 有料番組 110 度 C S のパススルーが可能となった為、令和 2 年度は有料番組の代替サービスを開始した。（てスカパーJSAT 株式会社）

SD 有料放送サービス終了時期については、令和 2 年度も調整中。引き続き SD 有料放送配信終了のタイミングなどを見ながら担当課と協議を行う。

## 2. 町及び公的機関の情報の提供に関する業務

### 1) 行政放送

町の広報誌や町の取り組みと連動した番組制作について技術的支援を行った。番組制作に際しては、台本作成や番組の進行及び出演は町役場各担当課が行い、企画課が調整のうえ、撮影、編集等の業務を公社が担当した。

放送内容については、企画課と連携し行政情報を遍く人に分かりやすく（特に見やすい字幕の配置・内容が分かるように適切な時間配分）放送することに努めた。

- ・主な行政番組：各課紹介・各課のお知らせ・40010 のたから等
- ・番組制作数：39 本
- ・再放送・持ち込み放送数：17 本

### 2) 議会中継及び再放送

行政の指示に従い 四万十町議会定例会及び臨時会の撮影、音声、字幕表示のオペレート業務、再放送に係る業務等技術的支援を行った。

- ・仕様書に基づく運用を実施  
(各議会前の回線チェック・定例会等の字幕作成適切なカメラ操作・再放送の制御)
- ・町議会定例会・臨時会放送：7回（20日間）生放送、同日夜及び同週末に再放送
- ・高知県議会定例会の生放送および録画放送

### 3) 文字放送

各団体が入力した掲載記事を確認、承認を行い、情報が的確に放送されるよう技術的支援を行った。（公共的団体等）

### 4) データ放送

データ放送の使い方について周知を適宜行った。

（111ch、122chで文字放送が放送されない時間帯でも文字放送に出された情報の確認ができるほか、L字放送が町役場等から出された際も「dボタン」を押すことで常に確認することができる。）

また、スマートフォンアプリ（四万十町くらしの情報）にも情報が連携されるため合わせて利用の案内を行った。

## 3. 緊急情報の提供に関する業務

災害対策に係る町の対策体制配備と連動した緊急放送に対応する為、災害時に力を発揮する、L字放送機器の定期的なメンテナンス（再起動・試験表示等）を行い災害に備えた。

【課題】 緊急情報の提供に関する業務への取り組み

- ・音声告知端末の確認：週2回（月・木）及び緊急放送等の予測時
- ・災害時の事前準備：役場緊急生放送の準備（役場会議室）
- ・災害時の確認：L字放送・文字放送・河川監視
- ・開設避難所のW i - f i 環境準備：第2段階
- ・河川監視の切り替え作業（展望台・志和）
- ・メディア連携の協議（7/10 テレビ高知）

## 4. 町民が自主的に取り組む映像制作の支援及び表現機会の提供に関する業務

町民が撮影した映像や写真等を気軽に紹介できるような投稿枠の確保を行った。

新型コロナ感染拡大の状況を考慮し、レクチャーは中止したが、『お家で過ごす時間』をテーマに投稿を募るなど、視聴者が自ら撮影した映像や写真が、テレビで流れる喜びを感じてもらえる番組作りに努めた。（しまんと放送室木曜日更新版に確保）

- ・投稿者数：24人
- ・投稿件数：64件
- ・放送回数：41回 内「お家で過ごす時間」テーマ投稿

家庭での過ごし方(動画) 2件

塗り絵チャレンジ (CATV キャラクター画像) 5件

## 5. 番組制作に係る取材、編集及び収録並びに番組映像の保管と公開に関する業務

### 1) 自主放送番組制作に係る業務

コミュニティ放送の特徴を活かし、「四万十町らしさ」を感じることでできる多様な番組づくりを行った。

#### 【課題】 高知県ケーブルテレビ推進協議会としての取り組み

全国高等学校総合文化祭 インターネットライブ配信及び特別番組の放送の実施。

第44回全国高等学校総合文化「2020 こうち総文」の総合開会式、パレード、軽音部部門（窪川四万十会館会場）の生中継を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、日程及び開催場所、開催内容等の大幅な変更があり、総文祭においても史上初となるWeb上での開催に変更され、当初予定していた生中継もライブ配信のみとした。

ライブ配信は、秋篠宮様ご一家がご観覧されるという事もあって生配信への注目が高まり、開催当日『WEB SOUBUN』特設サイトの視聴は7,000回再生、同時視聴数は一番多い時で約700人以上となった。

生配信の他に、生配信できなかった各部門発表については、発表の様子を編集し、後日四万十ケーブルテレビの特別番組として放送を行った。

- ・総合開会式：8月6日（かるぽーと）
- ・パレード：中止
- ・軽音楽部門発表：8月4日（かるぽーと小ホール）
- ・技術協力局：2社（よさこいケーブルネット・香南ケーブルテレビ）

#### (1) しまんと放送室

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため感染拡大期に取材の自粛を行い、役場からの情報を放送する枠を確保した（役場対策本部との連携・Web会議で情報を収集し、町立施設の利用制限や感染予防等について適宜放送した）。

また、正しいマスクの着用方法や、手洗い方法のVTRを役場の保健師協力のもと制作し、適宜「しまんと放送室」内で放送した。

その他、コロナに配慮した番組構成とし、3密を避ける取材やマスクの常時着用などに務め番組制作を行った。

- ・地域の身近な話題の紹介
- ・週2回更新（月曜日・木曜日更新30分番組）
- ・更新日に生放送を実施。年7回以上
- ・町内の保育所と小中学校及び高校の話題を放送
- ・帰省者向けの総集編を制作（お盆時期・年末年始）

- ・ 交流人口の多い近隣ケーブルテレビ局の話題を放送（ニュース素材交換）
- ・ 町民が撮影した映像や写真等の紹介
- ・ 伝言板のコーナーの確保  
（地域イベントの紹介等、町内でこれからある出来事を広く周知するコーナー）
- ・ 次回の番組案内（予告）
- ・ ケーブルテレビからのお知らせ
- ・ 番組内に広告放送枠の確保

## （2）四万十うおっちんぐ

コーナーの充実に向けて①～⑤の番組作りに取り組んだが、コロナ対策を行った番組制作が必須のため、人物紹介や団体紹介は積極的に行わず、スタッフ自らが遍路道を歩く番組や空撮映像を中心に構成するコーナーなどを確立した。

上半期は、第三者との接触を最小限にした番組作りに努めた。

- ・ インタビュー構成を多くし、「町民が主役」をテーマに制作
- ・ 週1回更新（月曜日更新 15分番組）
- ・ テーマに沿ったコーナーの確立
  - ① 町の風景紹介（四万十町の風景や四万十町の農作物の紹介など）
  - ② 歴史紹介（各地域や建造物、旧道等にスポットを当てて歴史の紹介など）
  - ③ 団体紹介（スポーツ・文化活動を行う団体やサークルを紹介など）
  - ④ 総集編（過去の番組を定期的に取り上げて紹介など）
  - ⑤ 人物紹介（町内で活躍する人々にスポットをあてた紹介など）

## （3）ドローンの活用

国土交通省 改正航空法で定められた飛行ルールに基づいた運用を行うと同時に定期的に機器の動作点検も行った。

令和2年度は、下記のドローンを活用した取り組みを行った。

- ・ 自主放送（四万十うおっちんぐ）のコーナーで紹介  
四万十町内、56箇所を4Kカメラで空撮し、四万十町の風景として放送。
- ・ 窪川高校生徒たちにドローンの可能性を伝える  
ドローンの将来の活用提案を考える機会を設ける目的として開催された「高知県立窪川高等学校ドローン教室」において、全校生徒向けに「ミニドローン操作体験」を行った。（主催：窪川高等学校・四万十町ドローン推進協議会）
- ・ ケーブル・アワード2020 受賞  
一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟が主催するケーブル・アワード2020 第13回ベストプロモーション大賞において、「4K 水中ドローン」の取り組みが本審査でRBB TODAY 賞を受賞。（5年ぶり2度目の受賞）

- ・「4K 水中ドローン利活用」委託調査研究の実施

四国情報通信懇談会（総務省 四国総合通信局所管）が主催する、令和2年度調査研究事業に、水中ドローンの取り組みを提案し「4K 水中ドローン利活用」について四万十町内の関係団体と連携して取り組んだ。

- ① 水中ドローンを使用した“水中から生中継”の調査研究
- ② 水中ドローン利活用 四万十川流域水生生物・環境把握保全の調査研究：四万十川
- ③ 水中ドローン利活用 水産業等の海洋保全活動に向けた調査研究：志和地区

#### (4) 特別番組等（長尺・生放送・他局番組含む）

新型コロナウイルスの影響もあり特別番組の総数は例年以下だったが、社会情勢に合わせた番組作りに努め、新たな番組も制作した。

- ・イベント生中継：年間3本（総合文化祭行事中継・除夜の鐘・初日の出中継）
  - ・特別番組（保育所、学校等の運動会・講演等の行事等）
  - ・テレビ de 音楽祭（小中学校の音楽祭中止に伴い各学校を訪問し収録して放送）
  - ・レギュラー（定期放送）化した番組
- ① 読み聞かせ紙芝居：合計10本
  - ② 「しまんと健康チャレンジ！」（ピラティスのポーズ紹介）

#### (5) 県内ケーブルテレビ局及び専門チャンネルからの番組提供

高知県内のケーブルテレビ局が制作する番組及び通信販売の専門チャンネルなど以下の局から番組の提供を受け放送する。

また、町内の視聴者にとって有益な情報があるコンテンツ（番組）については適宜調整して放送する。（民放制作番組等）

- ・高知ケーブルテレビ
- ・西南地域ネットワーク
- ・香南ケーブルテレビ
- ・よさこいケーブルネット
- ・テレビショッピングチャンネル（ショップチャンネル・QVC）

#### 2) 番組映像の保管と公開に関する業務

自主放送終了後に、放送年月日、放送内容等をテキスト化し、映像とともにアーカイブ化する。一部の映像（しまんと放送室及び四万十うおっちんぐ）は、放送終了後に『みのがしうおっちんぐ』として一年間のネット配信を行った。

## 6. テレビ及びラジオ放送の再送信に関する業務

放送法の有線一般設備安全・信頼性に関する技術基準に適合し安定的なテレビジョン放送の同時再放送業務

- ・FM 放送局の放送(FM 文字多重を含む)の同時再送信

- ・地上デジタルテレビジョン放送の同時再放送      パススルー方式
- ・衛星デジタルテレビジョン放送の同時再放送      B S - I F パススルー方式
- ・デジタル有線テレビジョン放送の同時再放送      トランスモジュレーション方式

放送の再放送に関する、放送法第 11 条等にもとづく内容の申請・変更の手続き業務

- ・地上基幹放送事業者（民放・ラジオ）
- ・衛星基幹放送事業者（B S 放送及び東経 110 度 CS 放送）
- ・一般放送事業者（東経 124/128 度 CS 放送・番組供給事業者）

その他の報告業務

- ・総務省四国総合通信局に放送法に基づく報告業務
- ・各事業者間の再放送同意に基づく報告業務
- ・日本ケーブルテレビ連盟への報告業務
- ・各著作権団体への報告業務
- ・番組供給事業者の報告業務

## 7. インターネットサービス等の通信に関する業務

近年は、スマートフォン、タブレットといった通信機器の普及など多様化により通信環境は大幅に変化しており、それと比例して加入者毎のトラフィック量も著しく増量している。今後更なるトラフィック量の増加が見込まれるため、加入者へ安定したサービスが行き届くよう、保守業者と連携し定期的な確認、調査及び対策を行った。

また、加入者に対しては、Wi-Fi 設定などインターネットサポート等を行い、コロナ網の中でも楽しむことかできるインターネット活用の取り組みを行った。

### 1) インターネットサポートの充実

インターネットの問合せは年々増加している。問合せの内容（サポートの切り分け）や加入者の状況によって電話及び訪問サポートで対応を行った。

- ・ルーターの設置設定（初回設置、交換）
- ・ルーターとスマホ・タブレット・PC 等、Wi-Fi 接続する各端末の設定
- ・『無線 LAN ルーター設置設定サービス』：14 件

### 2) インターネットを活用した取り組み

- ・自主放送番組しまんと放送室・四万十うおっちゃんぐ) の無料配信実施

- ・生中継のライブ配信

全国高等学校総合文化祭開会式 Web 生配信

窪川四万十会館イベント「お家でコンサート」の Web 生配信サポート：3 回

ビジネスプランコンテスト 2020 Web 生配信サポート

・四万十ケーブルテレビ公式 LINE「チャット受付」開始  
写真・動画の投稿やトラブルなどに関する問合せなどが、利用者が時間外でも簡単に送信できるようになった。

- ① 視聴者からの映像投稿ツール
- ② トラブル時など、詳細な受け答えが可能  
障害の写真等も受ける事が出来るので、詳細な対応に役立った。

・Free Wi-Fi のメンテナンスや更新計画を提供  
町が各公共施設に整備した Free Wi-Fi に対して回線状態、電波状態や電波干渉を専用の測定器を用いて測定確認し、更新の提案などの実施

・朝礼をオンラインで実施  
職場における新型コロナウイルス感染症予防策として3密（密閉、密集、密接）を避けるため職場のオフィス分散を行った。その際に Web 会議システム（zoom）を使用して朝礼を実施。その後もワークスタイルとしてオンラインで朝礼を実施中。

・双方向インターネット配信の技術を提供  
インターネット技術と機材を活用して『2020 こうち総文 WEB SOUBUN』高校軽音楽部の生徒が遠隔セッションに挑戦。  
（株）ヤマハミュージックジャパンと四万十ケーブルテレビが技術協力し遠隔セッションを実現した。（株）ヤマハが開発したオンライン遠隔合奏サービス『SYNCRROOM（シンクルーム）』を使用）

## 8. 広告放送に関する業務

レギュラー番組内に広告放送枠を確保し広告放送が行える環境を整備した。また、四万十ケーブルテレビのホームページにも広告・CM放送のお知らせを掲載。

## 9. 情報施設の利用の承認、休止、停止等に関する業務

放送通信サービスの加入申し込み、利用休止及び再開、利用停止及び脱退について、約款に基づいて手続きを行った。

また、加入者からの様々な受付内容（電話や来局による問い合わせや内容の変更、障害やクレームなど受付全般）の対応及び記録を問合せ管理システムに状況が分かる様に入力し、管理を行った。

## 10. 情報施設の加入に係る加入金及び利用に係る使用料等の徴収に関する業務

1) 加入金・利用料徴収及び未納者対応

約款にもとづいて加入金徴収の手続きを行い、料金未納者に対しては、以下の対応を行った。

- ・ 2 カ月分の料金未納者に対して、当月まで3 カ月分の料金振替案内を通知する。
- ・ 3 カ月分の料金振替ができなかった利用者に対し、3 カ月分の料金の現金による納入期限を電話で案内し、期限までに納入されなかった場合は停波する旨を伝える。
- ・ 3 カ月分の料金未納が確定した加入者に対し、放送通信を停波する。

## 2) 契約内容の確認通知 (2016 年 5 月電気通信事業法施行)

初期契約解除制度対象者へ、書面交付を行った。

### 1 1. 情報施設の維持及び管理に関する業務

#### 1) 放送通信設備の維持及び管理

情報施設等の機器更新について、更新時期及び導入機器等の設備の仕様について定期的に担当課と協議を行い、機器更新等の改修がある場合は、更新計画表に反映した。

また、情報施設の清掃や備品の管理及び保守点検業務に基づいた設備、システム等の定期点検を行った。

#### 【課題】 GE-PON 系機器更新に向けての取り組み

インターネット通信系設備 GE-PON システムは10年以上経過していることから、令和3年度中に再構築を実施予定。現状の運用に対しての課題や、インターネット環境の急速な利用方法の変化を踏まえ、より低コストで将来性や安定性、運用の効率性を担当課と協議し、再構築業務の調達に必要な仕様書（実施設計）を策定した。

また、四万十町音声告知放送システムの再構築についてもケーブル施設の設備維持管理等に関係することから行政の再構築業務に携わった。

#### ・ GE-PON 系機器更新と上位回線・設備更新

GE-PON 系機器更新に向けて、6 月 25 日に今年度取り組みスケジュールを担当課と作成し、情報提供依頼をかけ、調達の仕様書・実施設計作成及びコンサル業者の選定を行い、今後の再構築及び本調達に向けて実施設計業務に携わった。

また、上位回線及び上位設備（ネットワーク設備・サーバ設備）更新についても翌年度実施予定となることから調達の仕様書、実施設計作成を含め担当課と協議を行った。

#### 2) 伝送路設備の維持及び管理

伝送路監視システムによる常時監視を行い、伝送路の調査を定期的に行った。

障害等の発生時には職員が状況確認の後、工事業者へ作業依頼し復旧までの作業を行う。また、障害等につながる可能性がある伝送路設備の破損や支障木を発見した際には速やかに修繕、伐採するなどの措置を行った。

電力及びNTT柱、自営柱の移転等により工事が発生し経路が変わる場合や、新たに伝送路が設置された場合は、伝送路監視地図の修正を行った。

#### 【課題】伝送路設備等の調査及び管理

##### ・電柱添架・共架の契約状況確認と現地調査の実施

ケーブルテレビが管理しているNTT柱の申請数とNTTが所有する申請データ照合を行うために業者に現地調査を依頼し、令和2年度は十和地区の調査を行った。

##### ・鳥獣被害による光ケーブル張替の実施

令和2年度も小動物により光ケーブルが切断される被害が発生した。状況に応じて、接続クロージャを挿入、接続するなどの作業をし加入者への影響がない様、仮復旧を行った。仮復旧後、張替距離など今後の被害を考慮し、障害箇所前後を鳥獣害対策光ケーブルへ張替を行った。

- ・十和 野々川地区
- ・大正 江師地区及び芳川地区

### 3) 障害発生時の対応

放送及び通信に障害が発生した際には、速やかに必要な措置を講じ、町を含む関係者に障害の発生を即時に通報した。台風等の災害発生時には、町の対策体制配備と連動し、障害に対応する人員体制を整えた。

## 12. 事業の広報、宣伝及び利用促進に関する業務

ケーブルテレビの放送・通信サービスを宣伝、提案するとともに、利用者への支援サービスを行った。

自主放送番組及びホームページを通して広報宣伝を行うほか、自主放送（四万十放送室及び四万十うおっちゃんぐ）については放送終了後に一年間のネット配信を実施し、四万十町の様子やケーブルテレビの活動の様子を配信した。

また、令和2年度の課題として、四万十ケーブルテレビの活動を知ってもらう為、『イベント実施及び出店に向けての取り組み』を掲げ、10周年記念イベントに引き続き実施する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等を考慮し、開催を見送った。

その他、次世代人材育成の機会として、県下の高校生を対象とした体験学習等を実施。ICT研修の一環として、会社の概要、施設の見学やミニドローン教室、アナウンス体験、水中ドローン体験など、研修のサポートを行った。

- ・窪川高等学校全校生徒対象 7/23
- ・高知商業高等学校 情報マネジメント科2年生 11/18.19

### 1.3. 放送番組審議機関に関する業務

放送番組審議会を開催に際して、放送実績等の資料及び試写試聴用放送番組の準備、放送番組審議会への出席。

- ・放送番組審議会開催 2回 (9/30・3/24)

#### ■加入状況比較一覧表

区 分		令和元年度末	令和2年度末	前年度比 (1-2)
基本 サービス		7,479	7,497	18
	うち休止	300	325	▲25
ネット	128K	496	458	▲38
	30M	2,672	2,806	134
	100M	337	382	45
STB		1,103	1,055	▲48
	レンタル	119	106	▲13
	以外終了	728	701	▲27
	買取	256	248	▲8
有料放送	ファミCH	1,087	1,041	▲46
	ペイCH	65	55	▲10
IP電話		129	105	▲24

#### ■工事発注件数（令和2年度4月～3月末）

- ・ONU工事：212件（新規76件、移転41件、撤去94件、その他1件）
- ・障害工事：144件（断線、支線補修、張替、伐採、ONU障害等）
- ・電力柱移転工事：103件 電柱建替及び移設
- ・NTT柱移転工事：8件 電柱建替及び移設
- ・その他受注による工事：25件 道路拡幅に伴う支障移転工事、ムササビ障害  
風水災害（台風及び火災）等

## 【収益事業：会館・公園事業報告】

### ■事業概要

窪川四万十会館は、開館25周年で記念イベントを4公演計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により全て中止となりました。また、一般の講演会やカラオケ大会なども中止となりました。

自主事業として、ホールでの無観客インターネット生配信3回、公園でのイベントを2回の計5回実施しました。秋からは、「森のピアノ」（野外ステージに設置し誰でも弾ける）や「55ピアノ」（グランドピアノを55分間貸し出し）を開始しました。

四万十緑林公園は、3月に遊具が新設され、森のピアノとの相乗効果、コロナの影響で休日の利用人数は増加しました。

◆年間の会館利用者数：6,274人（目標値：18,000人）

◆ホール利用回数：36回（目標値：60回）

◆多目的室利用回数：231回（目標値：250回）

◆自主事業実施回数：5回（目標値：12回）

### 【課題】

①：自主事業の実施

②：設備改修工事の提案

### 1. 窪川四万十会館・四万十緑林公園の運営状況

---

令和2年度も指定管理に関する基本協定書に基づいて、窪川四万十会館（ホール、控室、多目的室）の利用拡大と事業内容の充実に努めた。

窪川四万十会館においては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴いホールを利用する催しは、少なかった。自主事業については、ホールでの無観客によるネット生配信ライブ3回、公園2回、計5回を実施しました。

四万十緑林公園については、前半は新型コロナウイルス感染症の影響で遊具の利用禁止期間（4/23～5/6）が設けられるなど利用者が少なかったが、後半10月以降「森のピアノ」の開催や遊具の新設などで、週末には多くの家族連れに利用されるようになった。

設備の不具合の早期発見に努め、来園者が安心して過ごせる環境づくりを行った。

窪川四万十会館・四万十緑林公園利用状況一覧表

令和2年度									
年度	利用室			利用人数			利用額	入金額	入金率
	月	木	控	多	会館	公園			
平成23年度	58	48	311	16,925		16,925	2,844,737	1,225,338	43
平成24年度	45	36	283	15,322		15,322	2,635,684	1,630,773	62
平成25年度	57	49	330	16,245		16,245	3,450,115	1,786,875	52
平成26年度	48	38	265	14,610		14,610	2,790,793	1,392,009	50
平成27年度	63	38	258	14,862		14,862	2,950,151	1,554,647	53
平成28年度	74	53	230	18,756		18,756	4,033,684	2,261,509	56
平成29年度	54	33	248	13,405		13,405	2,576,155	1,385,135	54
平成30年度	64	37	229	16,525		16,525	4,060,884	1,509,800	37
令和元年度	61	41	220	13,127	23,858	36,985	3,769,768	1,942,020	52
R2 4月	1	1	10	163	128	291	70,502	22,332	32
5月	1	0	10	132	125	257	76,610	21,502	28
6月	1	1	18	141	110	251	75,185	45,287	60
7月	1	4	17	588	205	793	116,354	57,774	50
8月	1	2	12	256	130	386	88,127	88,127	100
9月	5	2	31	246	195	441	71,851	68,991	96
10月	7	0	37	615	1,140	1,755	237,181	208,311	88
11月	14	4	22	486	160	646	236,214	89,644	38
12月	1	2	21	296	55	351	77,744	59,584	77
R3 1月	2	2	21	408	80	488	232,989	66,567	29
2月	1	0	17	171	65	236	42,453	42,453	100
3月	1	0	15	249	130	379	64,270	46,190	72
年度合計	36 回	18 回	231 回	3,751 人	2,523 人	6,274 人	1,389,480 円	816,762 円	59 %

## 課題① 自主事業の実施

### ○ホール自主事業

開催日	イベント名	出演者	チケット料金
4月18日	「お家でコンサート Vol.1」 Youtube 配信 LIVE	Narumi	無料
5月30日	「お家でコンサート Vol.2」 Youtube 配信 LIVE	山地 高	無料
6月27日	「お家でコンサート Vol.3」 Youtube 配信 LIVE	羽屋戸 橋道	無料

### ○緑林公園自主事業

10月2日	月夜の森の音楽会	150人	無料
10月24日	シェルシェ 2020 ・出店イベント ・野外映画上映 ・野外コンサート	1,000人	◆映画チケット 一般 1,500円 高校生以下 1,200円

9/26~11/29	森のピアノ~2020 秋~	(天気の良い土日祝日)	
------------	---------------	-------------	--

### ○その他共催事業

10月25日	親子でリズム (主催：NPO 法人 LIFE)	20組	参加費 1,000円
10月31日	アンサンブル・カルムコンサート (主催：NPO 法人 LIFE)	60人	一般 1,500円 高校生以下 1,000円

### ○ボランティアグループ『ひびき会』への依頼イベント

開催日	イベント名	主催者
10月24日	シェルシェ 2020	四万十公社

## 課題② 設備改修工事の提案

### 2. 施設及び付属設備の維持管理に関する事項

---

行政と協議し、窪川四万十会館及び四万十緑林公園の設備機器等の経年劣化による修繕及び機器更新を行ない維持管理に努めた。

#### 【会 館】

控室 小型電気温水器修繕  
事務所 玄関カウンター取付  
多目的室 ベランダ手すり塗装  
多目的室 収納棚取付

#### 【公 園】

駐車場、展望台 街灯修繕  
各トイレ給排水及び電灯修繕